

# 第1章 『健康あがの21計画』策定の背景と目的

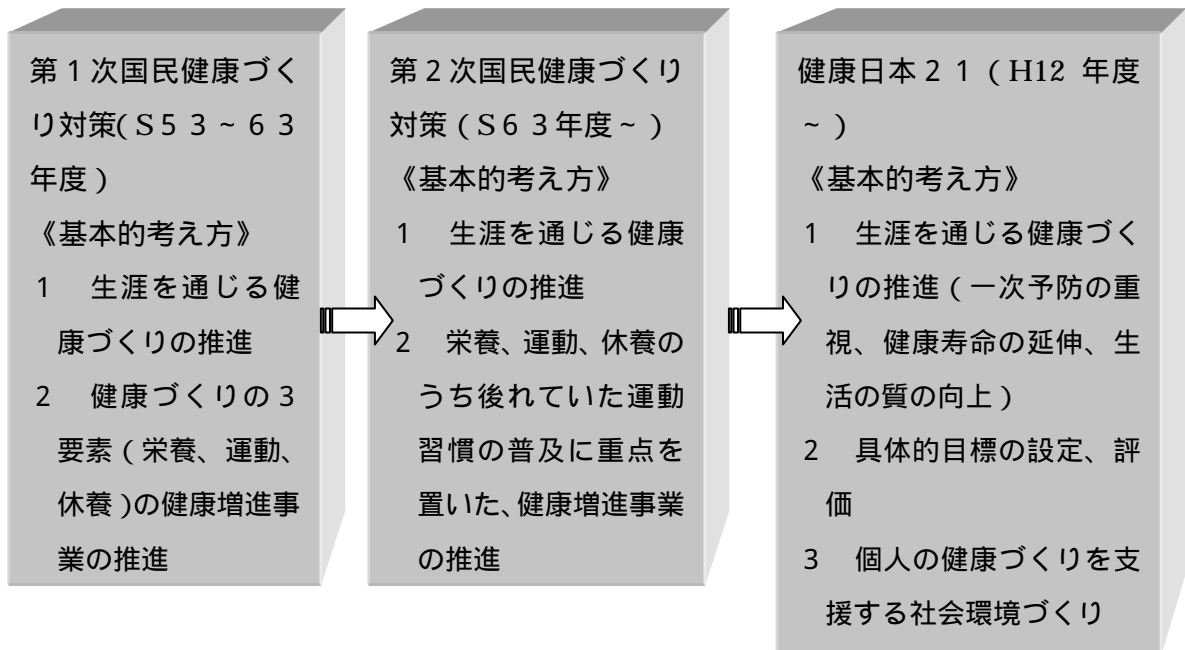
## 第1節 計画策定の背景

急速な少子高齢化社会の到来により、当市においても少子化、核家族化及び高齢化が進行しております。また、生活様式の変化による生活習慣病、これに起因して寝たきり等の要介護状態になる方は年々増加しており、地域や家族を取り巻く社会経済や生活環境も大きく変化してきました。

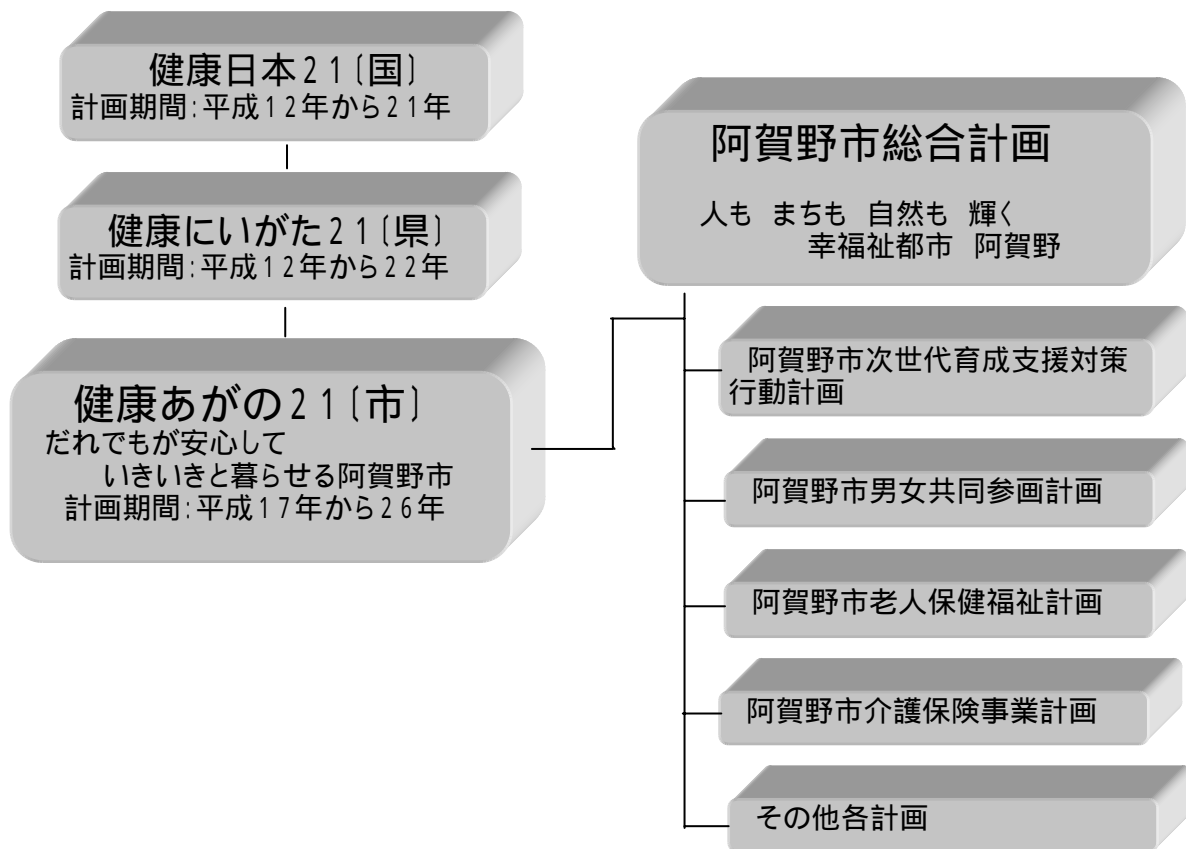
そこで、生活の質の向上を実現し、元気で明るい家庭・地域社会を築くためには、疾病の早期発見や治療にとどまらず、積極的に健康を増進し、疾病を予防する「一時予防」に重点を置いた対策の推進が急務であります。

こうした観点から、合併後新たな視点にたって、個人・家庭・地域及び行政が協力し、市民一人ひとりがゆとりと生きがいを持ち、健康で幸せな生活が送れることを目的とし、計画を策定することといたしました。

### 健康づくり対策の変遷



## 第2節 計画の位置づけ



## 第3節 計画の期間

この計画の期間は、平成17年度を初年度とし、平成26年度を目標年度とする10年間とします。

また、今後の社会情勢や健康に対する価値観等の変化に対応するため、平成22年度を目途に中間評価と数値目標の見直しを行うとともに、平成26年度には最終評価を行い、その評価をその後の計画推進に反映させることにしています。

